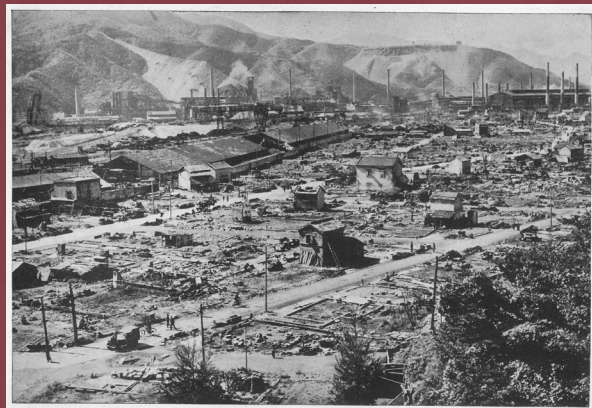
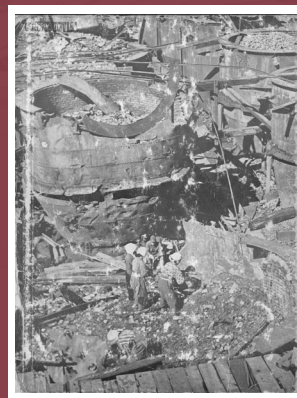


戦後80年



釜石と戦災 ～未来に伝えるために～



令和7年8月3日(日)

釜石市民ホール TETTO ホールA・B

◇映画上映会 10:30 開演 (10 時開場・上映時間 86 分・ホール A)

映画「**廃墟と化した鉄の町 釜石艦砲射撃の記録**」

◇講演会・パネルディスカッション

13:00~15:30 (ホール A)

【**基調講演**】 13:05 ~ 14:15

【**パネルディスカッション**】 14:30 ~ 15:30

「**わたしの戦争時代の思い出**」

コーディネーター：柴田 渥 氏

講師：佐野 睦子 氏 (戦争体験者)

(釜石市郷土資料館運営委員会委員長)

「**戦争の記憶～未来への継承～**」

パネリスト：佐野 睦子 氏

講師：小暮 聡子 氏 (『ニューズウィーク』

小暮 聡子 氏

日本版記者/編集者・『降伏の時』著者)

颯・2000 (読書サポーター)

◇パネル展

川村 吉 氏 (釜石市立甲子中学校教諭)

10:30 開場 (ホール B)

佐藤 凜汰朗 氏・中澤 大河 氏

(岩手県立釜石高等学校生徒)

主 催 釜石市・釜石市教育委員会
映画上映会 釜石市民ホール TETTO 協力による

問い合わせ：釜石市教育委員会文化財課 TEL0193-27-7567



入場無料

申し込み不要

「戦後 80 年 釜石と戦災～未来に伝えるために～」開催にあたって

今年で戦後 80 年を迎え、戦争を体験した方々が少なくなる現在、戦争の記憶の継承が難しくなっています。

釜石では 80 年前の昭和 20 年（1945 年）7 月 14 日と 8 月 9 日に、二度にわたっての艦砲射撃を受け、多くの方々が死傷し、街は廃墟となりましたが、先人たちの努力によって、大きな復活を遂げました。

そのような釜石で「戦後 80 年 釜石と戦災～未来に伝えるために～」と称し、戦争と平和を考える機会として、映画上映会や講演会、パネルディスカッションを開催することは大変意義のあるものと深く感じております。

先の大戦から風化しつつある記憶を継承し、未来につなげ、今を生きる我々が、戦争のない平和な未来を追及するきっかけとなることを願っております。

■ 艦砲射撃被弾数

	16 匁砲	8 匁砲	5 匁砲	計
7 月 14 日	802	728	1,035	2,565
8 月 9 日	803	1,392	586	2,781
合計	1,605	2,120	1,621	5,346

（釜石艦砲戦災誌より）※8 月 9 日イギリス艦隊の砲弾数は不明

■ 釜石市・甲子村の人的被害数

	死亡	不明	重傷	軽傷
7 月 14 日	431	9	30	116
8 月 9 日	283	3	27	10
軍関係者・捕虜	68			
合計	782	12	57	126

（令和 7 年 4 月現在）



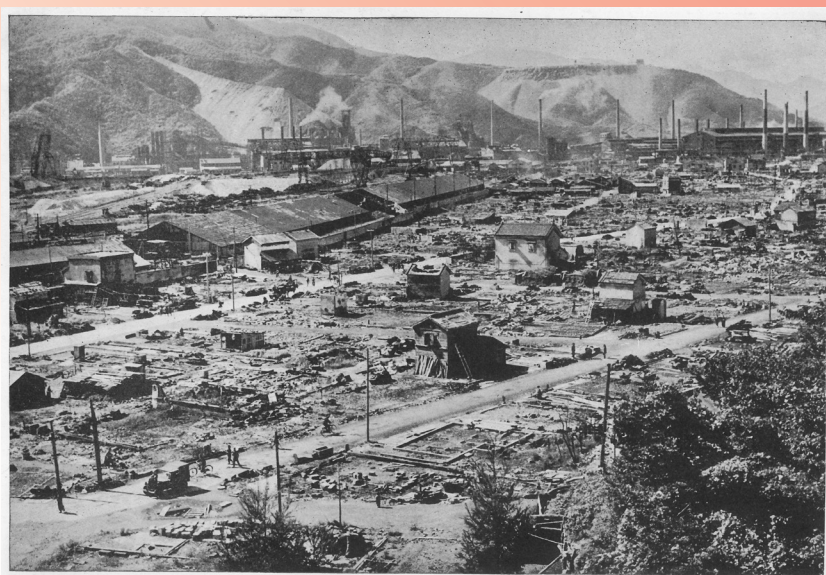
昭和 19 年缶詰工場女学生動員



武運長久祈願の行進



小川町防空壕跡



廃墟と化した釜石の市街地



平和像（薬師公園）

主 催
問い合わせ

釜石市・釜石市教育委員会
釜石市教育委員会事務局文化財課
〒026-0003 岩手県釜石市嬉石町 1-7-8 TEL 0193-27-7567

釜石市民ホール TETTO
〒026-0024 岩手県釜石市大町1-1-9
TEL 0193-22-2266 FAX 0193-22-3809